

2012

# いしかりの家計簿

〈平成 23 年度決算〉



# はじめに

石狩市では、第4期総合計画に掲げる将来像「あい風と人間(ひと)が輝く活力のまち・石狩」の実現に向けたさまざまな施策を推進しています。

本市の財政状況は依然厳しい状況が続いていますが、このような中、限られた資源で効率的で実効性の高い施策を行うには、市民の皆さんのご理解とご協力が不可欠です。

この「いしかりの家計簿」では、初めて市の予算・決算に触れる方にも分かりやすいよう、平成23年度決算における歳入・歳出の財政状況を、ある家庭の1カ月の家計に例えて説明します。より多くの皆さんに本市の財政状況に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

## ●あらすじ

「いしかりの家計簿」には石狩市内で暮らす5人家族が登場します。

これまで、お父さんの給料で家計はなんとか支えられてきましたが、とうとう、このままでは家計が立ち行かない危機に！

この状況を打破しようと、5カ月前にお母さんが「家計の基礎体力を徹底的につける計画<sup>※1</sup>」を発案。その後、家族全員で計画達成に向けて努力してきました。今月は計画の最終月。家計はどのように変わったのでしょうか？



(長男 市太郎くんと次男 市之介くん)

### ※1 基礎体力を徹底的につける計画

本市では、これまで財政構造改革を積極的に推し進めるなど、財政構造の健全化に取り組んできましたが、市税と地方交付税の大幅な落ち込みにより、恒常的な財源不足に陥っていました。

そこで、平成19年度～23年度の5年間で、収支バランスを黒字化に改善することを目標とする「石狩市財政再建計画」を策定しました。

本計画は、全事業の見直しや管理経費の削減、投資的事業の厳選など、7つの基本戦略を柱に、徹底した財政構造の改革を推し進めることを目的としています。

#### ●財政再建計画数値目標

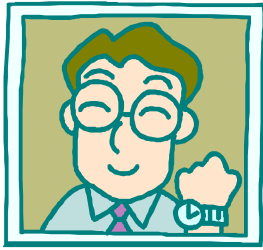
項目	目標値	23年度(計画最終年)
経常収支比率 (低いほど臨時的な経費にまわす財源を確保できる)	90%未満	89.6%
市債残高(人口1人当たり)	50万円未満	約53.4万円
実質公債費比率 (標準的な一般財源に対する公債費(借金)相当額の割合)	13%未満	11.5%

## ●財政状況を「家計」に例えると？

平成23年度の普通会計決算額（歳入 320 億 4,200 万円、歳出 314 億 9,800 万円）を人口（60,616 人／平成24年3月末現在）で割ると、次のようになります。

＜収入＞		＜支出＞	
給与	37 万 6,000 円	食費（人件費）	6 万 6,000 円
うち基本給	15 万円	教育費・医療費	7 万 8,000 円
（市税などの自主財源）		（扶助費）	
うち諸手当	22 万 6,000 円	ローン返済（公債費）	5 万 6,000 円
（国・道支出金、地方交付税など）		光熱水費（物件費）	5 万 7,000 円
銀行からの借入れ（市債など）	5 万 1,000 円	家の修繕費（維持補修費）	2 万 1,000 円
貯金の取崩し（繰入金）	1,000 円	サークル等の会費（補助費等）	5 万 3,000 円
前月の繰越し（繰越金）	9,000 円	家族への仕送り（繰出金）	3 万 9,000 円
		電化製品の購入（建設事業費）	3 万 5,000 円
計	43 万 7,000 円	貯金（積立金）	3,000 円
		株式投資（投資及び出資金）	2 万円
		計	42 万 8,000 円

- 人件費・・・職員給料や手当及び議員報酬などの経費。
- 扶助費・・・社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、老人、心身障がい者などを援助するための経費。
- 公債費・・・借入金の元金や利息を支払う経費。
- 物件費・・・消耗品や旅費、公共施設の維持・運営などの委託経費。
- 維持補修費・・・公共施設の補修などの経費。
- 補助費等・・・さまざまな団体などへの補助金、港や消防など市町村等の事務の一部を共同で処理するために設立された組合への負担金などの経費。
- 繰出金・・・国民健康保険事業や下水道事業などの特別会計に支出する経費。
- 建設事業費・・・道路、公園、学校等の公共施設を建設するための経費。
- 積立金・・・収支不足を補てんする基金や、公共施設の建設など、特定の目的のための基金への積立金。
- 投資及び出資金・・・財団法人などへの出資などのための経費。



(お父さん)

今月は、基本給※2は先月と同じで、諸手当※2が先月より5,000円減ったよ。長引く不況で、会社の業績も回復していないからね。

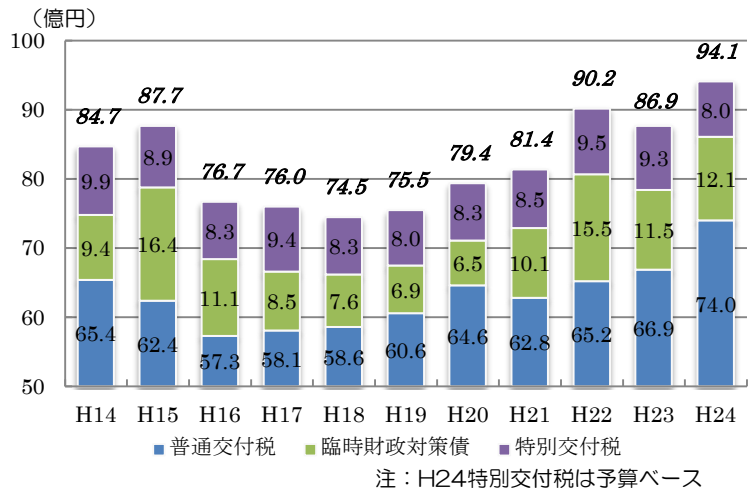
※2 基本給(市税などの自主財源)、諸手当(国・道支出金、地方交付税などの依存財源)

自主財源とは、市税、使用料・手数料、諸収入など、市が自ら直接調達できるお金のことであるのに対し、依存財源とは、国庫支出金、道支出金、地方交付税などのように、国や道などに依存している財源をいいます。

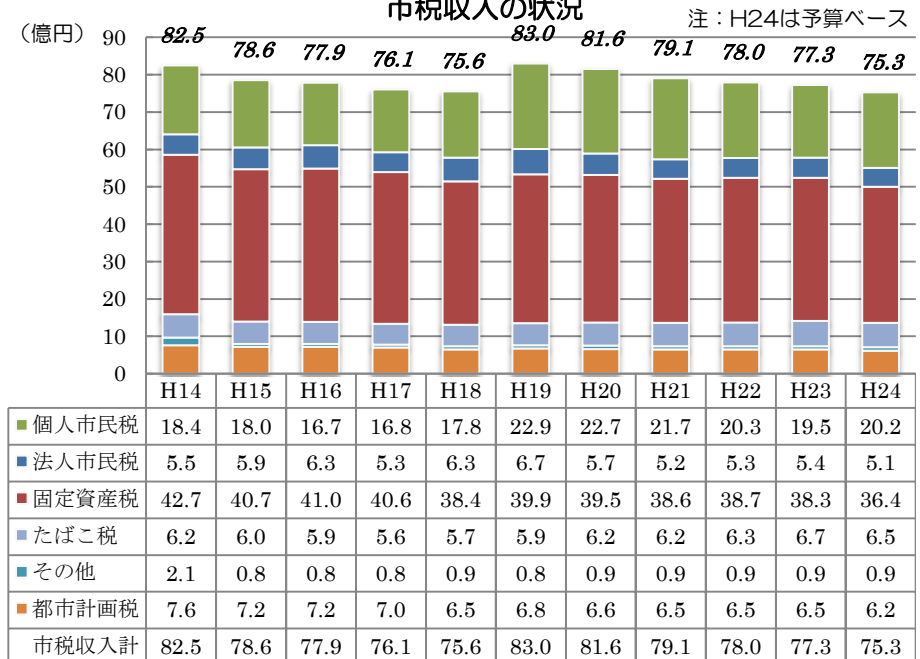
また、依存財源のうち、普通交付税については、合併後10年間(石狩市の場合H18~H27)に限り、旧3市村が合併していなかった場合にそれぞれがもらえていたと考えられる交付税を合算した額がもらえます(しかし、11年目(H28)以降については、5年間で段階的にその額が引き下げられていきます)。

自主財源の大部分を占める市税は、市が自主的にまちづくりを進める上で、重要な役割を果たしています。税金に関する今後の状況については、景気低迷や個人の所得減少などを背景に回復の兆しが未だ見えないことから、依然として自主財源の確保が難しい状況です。

地方交付税等の決算額の推移



市税収入の状況





(お母さん)

子どもたちの教育費もかかるし、これからも貯金<sup>※3</sup>を取崩さないよう、節約に努めるわ。まだまだ出費の重荷になっているローンの返済<sup>※3</sup>を減らしていけないとね。

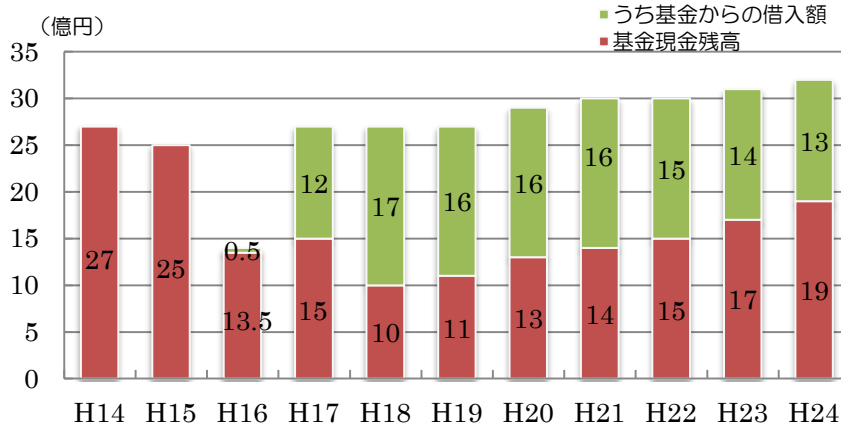
### ※3 貯金、ローンの返済

家庭における貯金を市では基金と呼んでいます。その種類には年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金、地方債の元利償還金の財源に充てるための減債基金、合併まちづくり基金など特定目的のための基金があります。

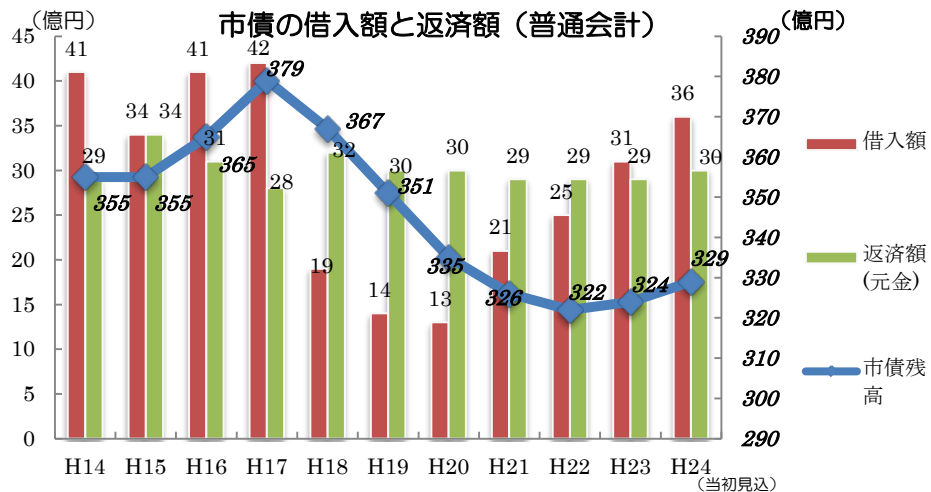
これまで積立てをしてきた基金は、歳入不足による取崩しにより残高が減少し、ほとんど底を突いている状況です。そのため、一時は本来特定の目的のために利用する他の基金から一時的にお金を借りて、歳入の補てんを行っていましたが、平成19年度以降は、基金からの借入れを行わずに収支の均衡を図ることができています。

平成23年度決算では、公共施設修繕基金の取崩しにより、前年度に比べ、340万円の大幅な歳入増加となりましたが、今後も引き続き基金からの借入れを行わなくても、収支の均衡を図ることができるよう、弾力性のある財政運営を確立していきます。

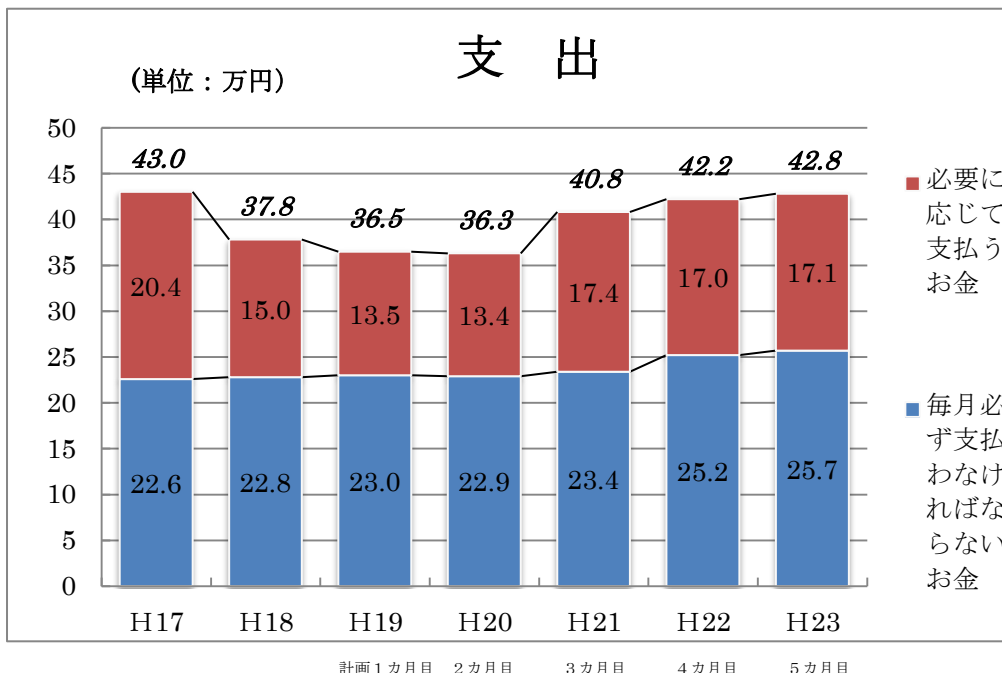
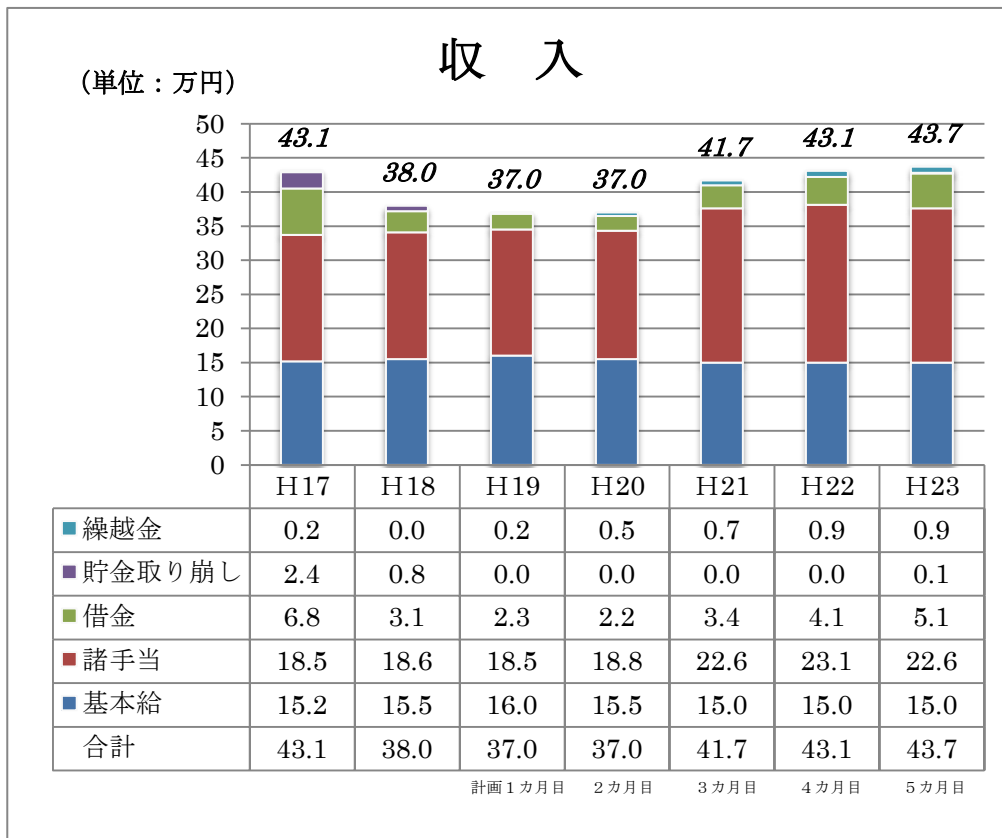
### 基金残高（普通会計）の推移 注：H24は予算ベース



市の借金については、地方全体の財政状況の悪化に伴う財源対策などにより、多額の借入れと返済を行わざるを得ない状況です。しかし、平成18年度に行った市債の借換えや、財政再建計画に基づく新規発行額の抑制などにより、残高はピーク時より大幅に減少しています。



● 毎年の家計簿から見る収入・支出の推移

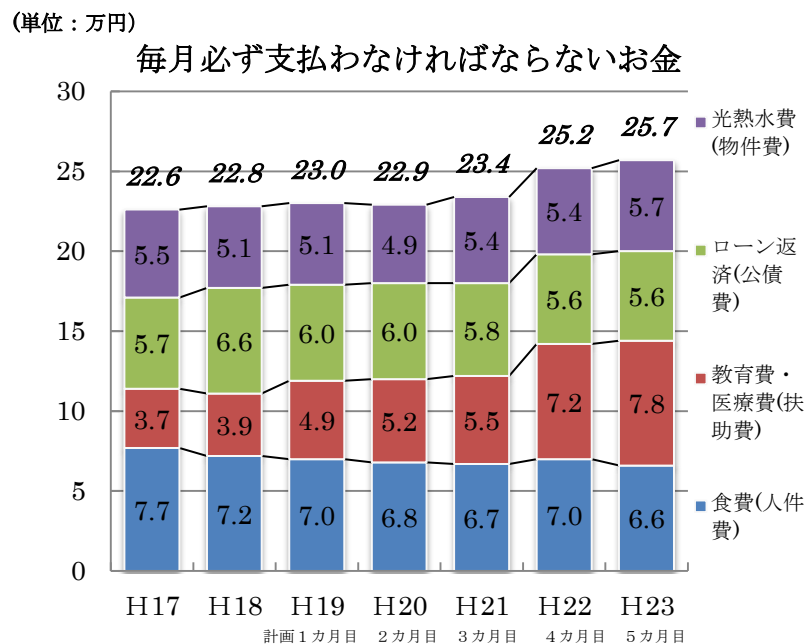
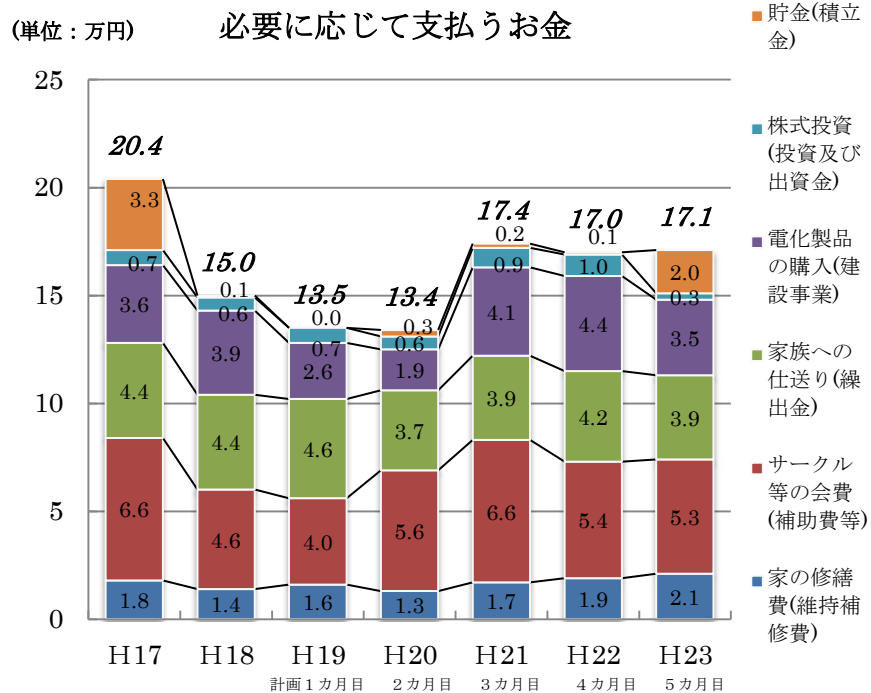




(長女・特会さん)

この5カ月間、家族みんなで、出費の内容を本当に必要かどうか徹底的に見直したり、ローンを最低限度にとどめたり、オークションで財産を売ったりして、家計の安定のため頑張ってきたの。5カ月間で、我が家の家計は黒字になったわ。

※特会さんの名前の由来…特定の事業の歳入・歳出を一般会計と区別するために特別会計を設置できます。市では、平成23年度時点で国民健康保険などの10の特別会計を設置しています。



## おわりに

ここまで読んでいただきありがとうございました。「石狩市財政再建計画」における計画年度である平成19年度～23年度までの5年間で、本市の財政が危機的な状況を脱し、緩やかな改善基調を歩んでいることをご理解いただけたでしょうか。

この「いしかりの家計簿」での給料や食費などの金額は、全て石狩市の平成23年度決算額を平成24年3月末現在の人口で割った金額を用いているため、実際の家庭における家計簿とはかけ離れているかもしれません。しかしながら、このような資料を通して、とかく難しいイメージで敬遠されがちな「財政」というものを、市民の皆さんがいくらか実感を持って考えていただければ大変幸いです。

市では、平成24年度から今後5年間の財政運営の指針となる「石狩市中期財政運営の指針（財政規律ガイドライン）」に則った財政運営を進めてまいります。このガイドラインでは、引き続き市債の残高を段階的に縮減するなど健全化に努め、道内の他都市と比較すると依然として高い「将来負担比率」を、ガイドライン最終年の平成28年度には、道内の平均値まで下げることを目指します。

これからも、皆さんに分かりやすい財政状況の公表に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成24年10月発行：石狩市財政部財政課財政担当  
〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30番地2  
TEL：0133-72-3154  
FAX：0133-75-2275  
E-mail：zaisei@city.ishikari.hokkaido.jp